

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2019年第7週
(2月11日～2月17日)

- * 2019年2月20日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「エイズ治療の現在」も掲載しています。

平成31(2019)年2月21日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

定点把握対象疾患 報告数 2019年7週

上段: 報告数
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2019年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数			
		4週	5週	6週	7週					
小児科	RSウイルス感染症	50 0.19	48 0.18	41 0.16	63 0.24	262	264			
	咽頭結膜熱	51 0.19	39 0.15	45 0.17	42 0.16					
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	642 2.45	590 2.26	580 2.22	452 1.73					
	感染性胃腸炎	2,067 7.89	1,981 7.59	1,819 6.97	1,453 5.55					
	水痘	111 0.42	86 0.33	107 0.41	91 0.35					
	手足口病	28 0.11	24 0.09	37 0.14	20 0.08					
	伝染性紅斑	429 1.64	311 1.19	224 0.86	177 0.68					
	突発性発しん	84 0.32	80 0.31	76 0.29	78 0.30					
	ヘルパンギーナ	6 0.02	2 0.01	6 0.02	3 0.01					
	流行性耳下腺炎	23 0.09	19 0.07	13 0.05	10 0.04					
	川崎病 *1	4 0.02	2 0.01	3 0.01	2 0.01					
	不明発しん症 *1	9 0.03	11 0.04	10 0.04	8 0.03					
	インフル エンザ	インフルエンザ *2	26,635 64.18	18,926 45.71	10,421 25.17			4,281 10.32	415	419
	眼科	急性出血性結膜炎							38	39
流行性角結膜炎		13 0.34	16 0.42	9 0.24	4 0.11					
基幹	細菌性髄膜炎 *3	1 0.04		1 0.04	1 0.04	25	25			
	無菌性髄膜炎		2 0.08		2 0.08					
	マイコプラズマ肺炎	1 0.04	3 0.12	2 0.08	2 0.08					
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		1 0.04	2 0.08	1 0.04					
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス) *4	6 0.24	3 0.12	8 0.32	9 0.36					
	インフルエンザ入院	216 8.64	210 8.40	121 4.84	56 2.24					

2019/2/20集計

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ インフルエンザはピークを過ぎていますが、報告数の高い地域があり、注意が必要です。
- ・ 伝染性紅斑は一部に報告数の高い地域があります。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2019年7週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
～5か月	12			5	11						
6～11か月	13	5	1	66	3	1	3	25		1	1
1歳	16	7	10	159	1	6	13	40	1		1
2歳	10	7	21	135	1	7	14	8		1	
3歳	6	6	40	122	6	2	24	2	1		
4歳	2	5	68	125	11	1	28				
5歳	2	3	72	96	6	2	36	2	1	3	
6歳	1	3	43	102	10		21			1	
7歳	1		50	49	11		9			1	
8歳		2	56	83	7	1	10	1		1	
9歳			25	54	17		7			1	
10～14歳		1	43	163	5		11				
15～19歳			6	52			1			1	
20～29歳		3	17	242	2						
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	63	42	452	1,453	91	20	177	78	3	10	2
先週比	22	-3	-128	-366	-16	-17	-47	2	-3	-3	-1

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。

眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科	インフルエンザ	眼科			基幹				
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出 血性結 膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月		19								
6～11か月	3	51							1	1
1歳	1	186							2	3
2歳	2	202							1	3
3歳		244					1			2
4歳		192							1	1
5歳	1	213							1	1
6歳	1	234							2	2
7歳		229								1
8歳		178								1
9歳		148								
10～14歳		555							1	1
15～19歳		179								
20～29歳		277		1						1
30～39歳		429		3		1		1		
40～49歳		419								1
50～59歳		229					1			
60～69歳		148			1					4
70～79歳		99								7
80歳以上		50				1				27
合計	8	4,281		4	1	2	2	1	9	56
先週比	-2	-6,140		-5		2		-1	1	-65

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。

眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数 【保健所別】 2019年7週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田							1.33				
中央区			0.67	11.33	0.67	0.33	0.67	0.67			
みなと	0.17	0.17	3.83	3.50		0.33	0.50	0.33	0.17		
新宿区	0.63	0.25	1.13	4.13	0.25			0.13		0.13	
文京			1.75	9.50	0.25		0.75	0.75			
台東			1.00	5.00	0.25		0.75	1.00			
墨田区		0.20	2.00	2.80				0.20			
江東区	0.22	0.11	2.33	8.67	0.11		0.89	0.33		0.11	
品川区	0.13		0.63	6.50			0.50	0.13			
目黒区	0.80		2.00	6.00	0.20	0.20	0.60				
大田区	0.15	0.08	2.23	8.46	0.46	0.23	0.46	0.38		0.08	
世田谷	0.38	0.31	1.63	4.88	0.31	0.13	1.19	0.13	0.06	0.06	
渋谷区		0.50	0.25	7.50		0.25	0.25				
中野区			4.33	6.17			1.00	0.83			
杉並	0.27		0.82	4.09	0.36		0.55	0.09			
池袋	1.00	0.50	0.25	0.75		0.50					
北区	0.14	0.29	0.71	3.43	0.29		0.86	0.71			
荒川区	0.75		3.00	6.25	1.00			0.75			
板橋区		0.20	0.30	3.80	0.60		0.70			0.10	
練馬区	0.23	0.08	3.46	5.62	0.08		0.15	0.23		0.08	
足立	0.15	0.08	1.46	4.92	0.15		0.69	0.38			
葛飾区	0.13		1.88	5.25	0.50	0.50	0.63	0.13			
江戸川			1.83	6.42			0.58	0.17			0.08
八王子市	0.45	0.73	2.18	7.36	0.55		1.00	0.18			
町田市	0.25		1.38	7.13	0.63		0.88				0.13
西多摩		0.13	0.88	4.00	1.63		1.00	0.13			
南多摩			0.78	4.33	1.00		0.89	0.22		0.22	
多摩立川	0.14		1.79	4.21	0.07	0.07	0.29	0.36			
多摩府中	0.29	0.19	1.48	7.14	0.67	0.05	1.10	0.57	0.05	0.10	
多摩小平	0.71	0.57	3.07	4.93	0.07	0.14	0.86	0.50			
島しょ											
東京都	0.24	0.16	1.73	5.55	0.35	0.08	0.68	0.30	0.01	0.04	0.01

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田		9.25								
中央区		7.40		1.00						
みなと		10.11					1.00			
新宿区		9.25								1.50
文京		6.86								1.00
台東		3.57								
墨田区		9.25								3.00
江東区		8.29								
品川区		6.27								
目黒区		6.43								
大田区	0.08	8.14		0.50						
世田谷	0.06	13.16							1.00	4.50
渋谷区		5.86								
中野区	0.17	9.80		1.00						
杉並		6.18								6.50
池袋		6.71							4.00	
北区		10.00								
荒川区		11.14								
板橋区	0.10	7.38								
練馬区		10.95								
足立	0.08	7.95								
葛飾区		11.62								3.00
江戸川		10.11								
八王子市		15.11								
町田市	0.13	12.00								
西多摩		10.43								
南多摩		12.86								
多摩立川		12.52							1.00	1.00
多摩府中	0.10	12.67		0.33			0.33	0.33		3.67
多摩小平		12.55			0.50	1.00			1.00	6.00
島しょ		44.00								

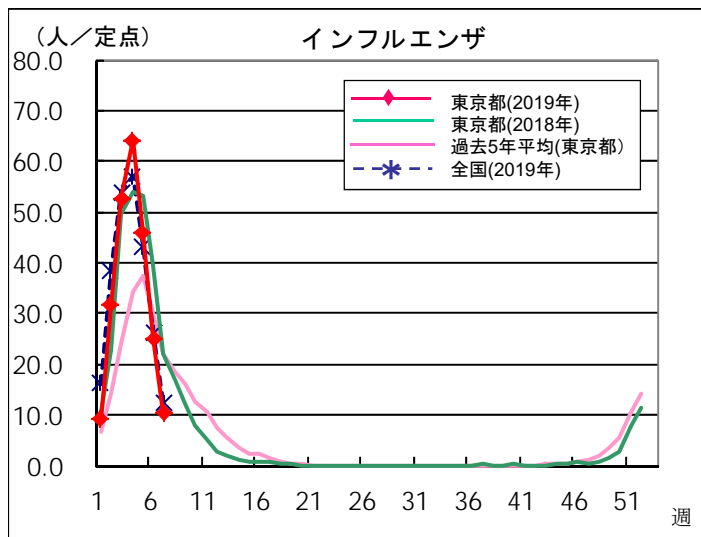
東京都	0.03	10.32		0.11	0.04	0.08	0.08	0.04	0.36	2.24
-----	------	-------	--	------	------	------	------	------	------	------

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2019年7週

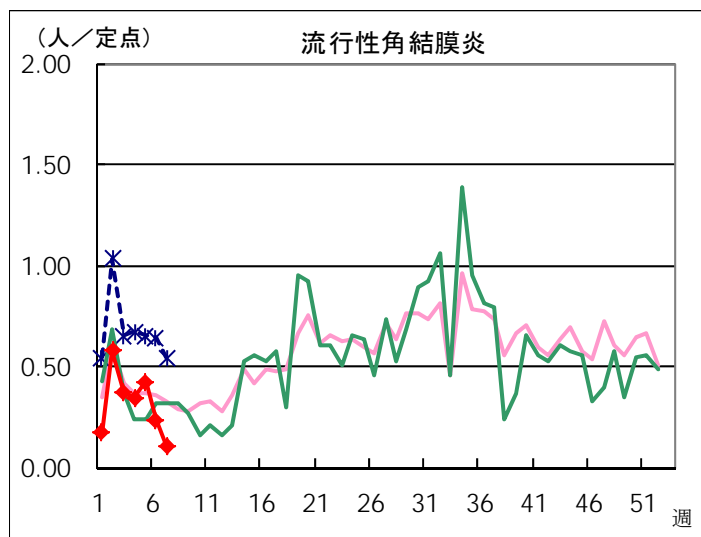
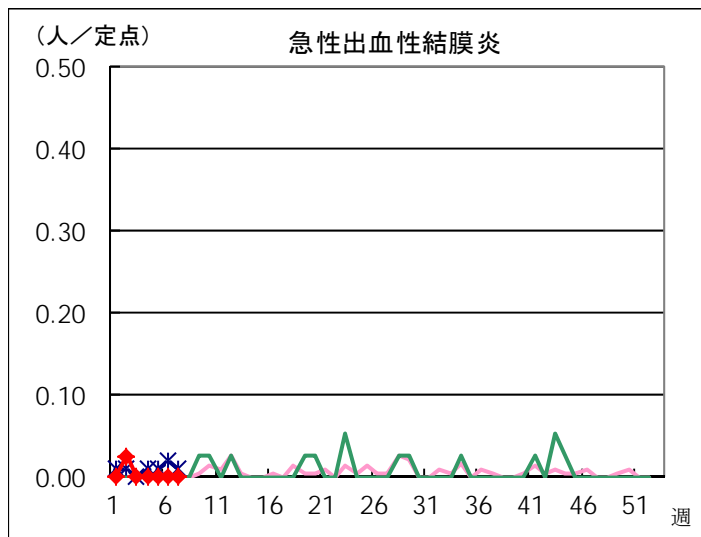
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田							4				
中央区			2	34	2	1	2	2			
みなと	1	1	23	21		2	3	2	1		
新宿区	5	2	9	33	2			1		1	
文京			7	38	1		3	3			
台東			4	20	1		3	4			
墨田区		1	10	14				1			
江東区	2	1	21	78	1		8	3		1	
品川区	1		5	52			4	1			
目黒区	4		10	30	1	1	3				
大田区	2	1	29	110	6	3	6	5		1	
世田谷	6	5	26	78	5	2	19	2	1	1	
渋谷区		2	1	30		1	1				
中野区			26	37			6	5			
杉並	3		9	45	4		6	1			
池袋	4	2	1	3		2					
北区	1	2	5	24	2		6	5			
荒川区	3		12	25	4			3			
板橋区		2	3	38	6		7			1	
練馬区	3	1	45	73	1		2	3		1	
足立	2	1	19	64	2		9	5			
葛飾区	1		15	42	4	4	5	1			
江戸川			22	77			7	2			1
八王子市	5	8	24	81	6		11	2			
町田市	2		11	57	5		7				1
西多摩		1	7	32	13		8	1			
南多摩			7	39	9		8	2		2	
多摩立川	2		25	59	1	1	4	5			
多摩府中	6	4	31	150	14	1	23	12	1	2	
多摩小平	10	8	43	69	1	2	12	7			
島しょ											
東京都合計	63	42	452	1,453	91	20	177	78	3	10	2

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田		37								
中央区		37		1						
みなと		91					1			
新宿区		111								3
文京		48								1
台東		25								
墨田区		74								3
江東区		116								
品川区		69								
目黒区		45								
大田区	1	171		1						
世田谷	1	329							2	9
渋谷区		41								
中野区	1	98		1						
杉並		105								13
池袋		47							4	
北区		110								
荒川区		78								
板橋区	1	118								
練馬区		230								
足立	1	159								
葛飾区		151								3
江戸川		192								
八王子市		272								
町田市	1	156								
西多摩		146								
南多摩		180								
多摩立川		263							1	1
多摩府中	2	418		1			1	1		11
多摩小平		276			1	2			2	12
島しょ		88								
東京都合計	8	4,281		4	1	2	2	1	9	56

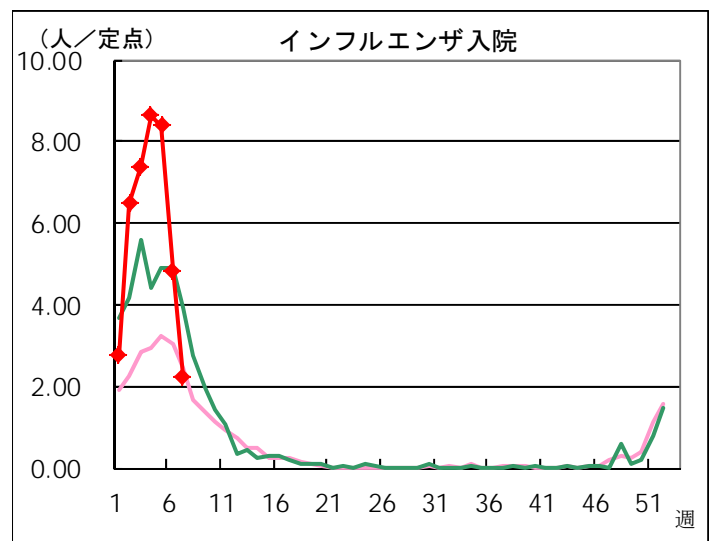
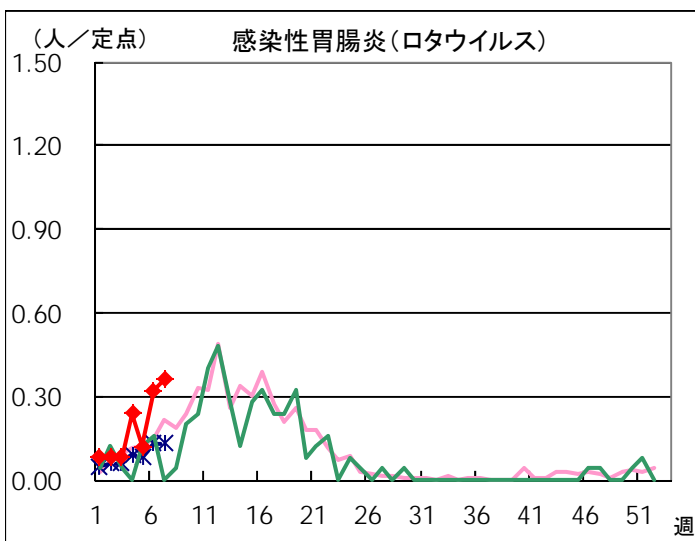
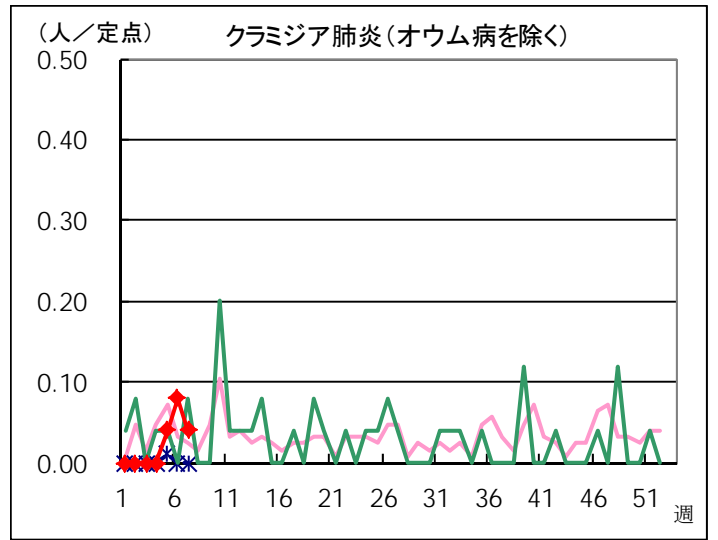
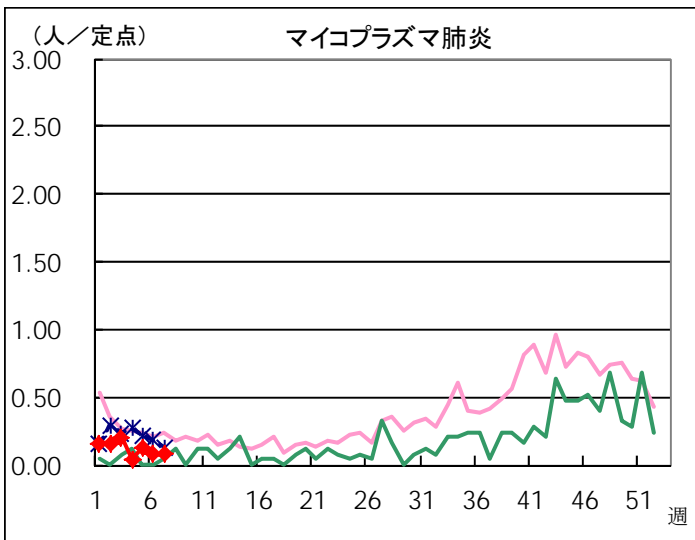
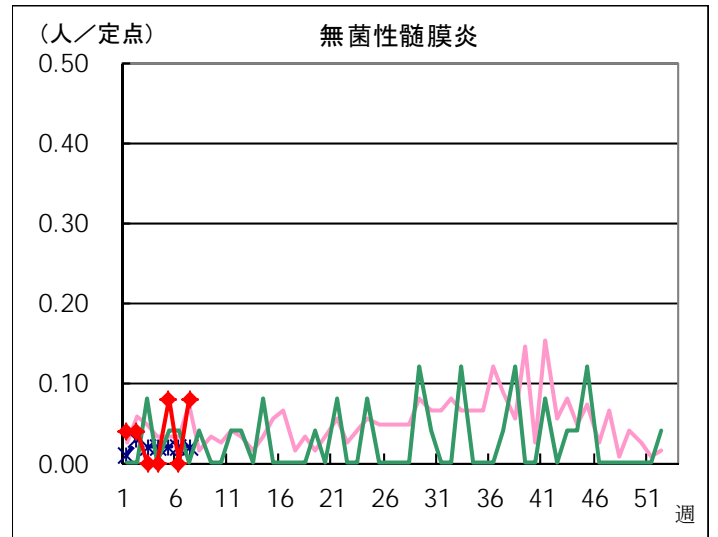
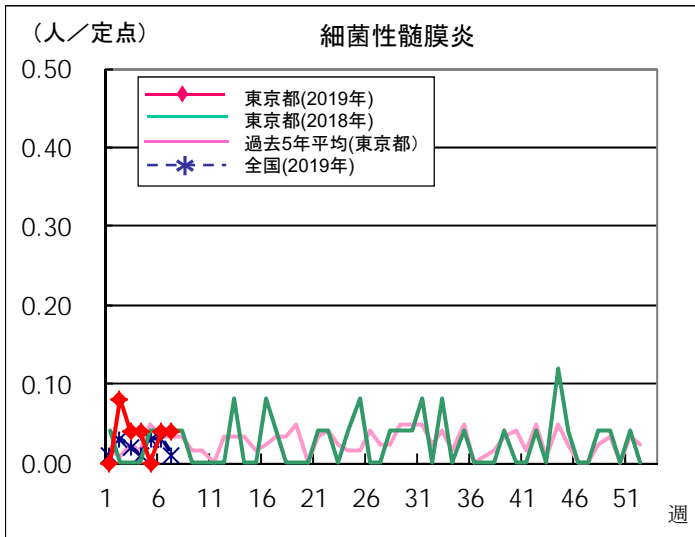
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
1/11	突発性発しん	1	咽頭拭い液	アデノウイルス2型
1/12	無菌性髄膜炎	0	髄液	ヒトヘルペスウイルス6型
1/16	咽頭結膜熱	2	咽頭拭い液	アデノウイルス2型
1/18	インフルエンザ様疾患	1	咽頭拭い液	アデノウイルス
1/21	不明発しん症	4	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群16型

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH3亜型	B型Victoria系統	B型Yamagata系統
2019年4週	12	27	1	
2018-2019年 シーズン累計*	92	95	1	1

* 2018-2019年シーズンの開始は第36週(2018年9月3日～)

病原体検出情報【週別】

検出病原体	2018年			2019年				
	50週	51週	52週	01週	02週	03週	04週	05週
アデノウイルス	3				1	2	2	
コクサッキーウイルスA群	3		1		2		1	
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス								
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス		1						
ライノウイルス	1	3	1					
ヒトメタニューモウイルス								
単純ヘルペスウイルス						1		
水痘・帯状疱疹ウイルス	3							
ヒトヘルペスウイルス6型・7型		1	2		1		1	
EBウイルス		1						
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス					1			
麻しんウイルス								
麻しんA型(ワクチンタイプ)								
風しんウイルス								
風しん1a型(ワクチンタイプ)								
ヒトパルボウイルスB19	2		2		2			
RSウイルス		1	1					
ノロウイルス	1	3			1			
ロタウイルス								
サポウイルス		1	1					
インフルエンザウイルスAH1pdm09	2	14	11	1	27	3	12	
インフルエンザウイルスAH3亜型	3	2	8		23	23	27	
インフルエンザウイルスB型Victoria系統							1	
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統					1			
その他のウイルス								
A群溶血性レンサ球菌T-1型					3			
A群溶血性レンサ球菌T-3型								
A群溶血性レンサ球菌T-4型					1			
A群溶血性レンサ球菌T-12型					3			
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型	1				1			
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型	1		1					
A群溶血性レンサ球菌その他のT型					1			
A群溶血性レンサ球菌T型別不能								
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ		1						
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								

病原体検出情報【臨床診断名別】

2018年50週～2019年05週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発疹	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
搬入検体数	2	3	12	10	5	5	8	5	1	4	2	15	145	36				4	1	
アデノウイルス		3						1						4						
コクサッキーウイルスA群						4			1				2							
コクサッキーウイルスB群																				
エコーウイルス																				
エンテロウイルス71																				
その他のエンテロウイルス														1						
ライノウイルス					2							2	1							
ヒトメタニューモウイルス																				
単純ヘルペスウイルス														1						
水痘・帯状疱疹ウイルス					3															
ヒトヘルペスウイルス6型・7型								2				2						1		
EBウイルス										1										
サイトメガロウイルス																				
ムンプスウイルス										1										
麻疹ウイルス																				
麻疹A型(ワクチンタイプ)																				
風しんウイルス																				
風しん1a型(ワクチンタイプ)																				
ヒトパルボウイルスB19								3				3								
RSウイルス	2																			
ノロウイルス				5																
ロタウイルス																				
サポウイルス				2																
インフルエンザウイルスAH1pdm09													62	8						
インフルエンザウイルスAH3亜型													78	8						
インフルエンザウイルスB型Victoria系統													1							
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統													1							
その他のウイルス																				
A群溶血性レンサ球菌T-1型			3																	
A群溶血性レンサ球菌T-3型																				
A群溶血性レンサ球菌T-4型			1																	
A群溶血性レンサ球菌T-12型			3																	
A群溶血性レンサ球菌T-25型																				
A群溶血性レンサ球菌T-28型				2																
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型				2																
A群溶血性レンサ球菌その他のT型				1																
A群溶血性レンサ球菌T型別不能																				
百日咳菌																				
肺炎マイコプラズマ																				1
肺炎クラミジア																				
髄膜炎菌																				
B群レンサ球菌																				
肺炎球菌																				
インフルエンザ菌																				
黄色ブドウ球菌																				
大腸菌																				
その他の細菌																				
その他の病原体																				

<感染症豆知識>

エイズ治療の現在

HIV 感染症は、かつては「エイズ=死」というイメージの致死的な疾患であった。しかし、それも 1996 年から抗 HIV 薬による多剤療法 (Antiretroviral therapy : ART) が始まったことで大きく変わる事となった。ART は、血中ウイルス量を検出感度未満まで抑制し、HIV によって低下した免疫を回復させた。その結果、HIV 感染症の予後は劇的に改善しており、感染者の平均余命も、非感染者に迫るところまで期待できるようになった。

ART 開始当初の抗 HIV 薬は、多くの副作用が認められ、薬剤耐性も起こりやすく、服薬錠数や服用回数の多さは患者の大きな負担となっていた。しかし、治療薬の進歩によって、副作用は大幅に軽減され、薬剤耐性も少なくなった。また、薬の合剤化によって、1 日 1 回 1 錠の内服による治療も増えてきている。

このように HIV 感染症は、コントロール可能な慢性疾患と考えられるようになってきている。しかしその一方で、心疾患、慢性腎臓病、認知症、悪性腫瘍などの様々な長期合併症が、新たな問題として注目されてきている。そして、患者の高齢化に対応できる、地域における医療体制の構築も、HIV 診療における喫緊の課題となっている。

また、我が国における診断の遅れは深刻な状況が続いており、新規 HIV 感染者の約 3 割が、エイズ発症をきっかけに診断されているのが現状である。たとえ ART が進歩しても、診断が遅れてしまえば死亡することや後遺症を残すこともある。早期診断・早期治療は、今も解決すべき大きな課題のひとつなのである。

(文責 東京都立駒込病院感染症科部長 今村顕史)